

<Vol.54 の記事>

浦スポの活動主旨について・・・
活動場所について
クラブ会員 1,000 人を超える！ 次の課題は会員の交流機会！

【浦スポの活動主旨について】

浦和スポーツクラブは、法人設立の目的に『地域社会におけるスポーツの普及と振興を図り、青少年の健全な心身の発達を促すとともに、子どもから大人まで生涯を通じて豊かなスポーツライフを送ることができ、スポーツ文化の根付いた社会の形成に寄与することを目的とします』と掲げています。

地域のスポーツの普及と振興を図ることすべてを、一つのクラブで実現できるとは考えていません。

地域には長い歴史を持って活動されている多くの団体があります。浦スポは、そのような既存のチームや団体や学校と連携し補完しあうことで、地域のスポーツ環境を広く充実させることが、住民にとって幸せなことであり、スポーツが発展することにつながるものと考えています。

したがって、例えば、サッカー分野で考えると、少年団、中学校、高校などの活動が盛んで、レッズ、アルディージャといったトップチームがある中で、浦ス

ポは、無理をして、地域の一番を目指したり、2を目指したりするのではなく、オンリーワン(浦スポ独自)を目指すことで、地域で必要とされる活動を提供したいと考えています。

幼稚園～小学生について

「子どもの運動能力の向上と、遊び場の提供という、現在の社会で求められている場を提供する」ことを目指しています。

多くの友達と交流する中で、子ども達が自然と身につけていくことを大切にしたいと思っています。みんなが楽しく遊ぶためには、ルールが必要です。ルールを守るための最小限の注意などは、指導者が行っていくように心がけますが、子ども達は、ここで喧嘩もすれば、助け合うこと・かばいあうことなど、さまざまな経験を積み、心の引き出しを増やしてほしいと考えています。

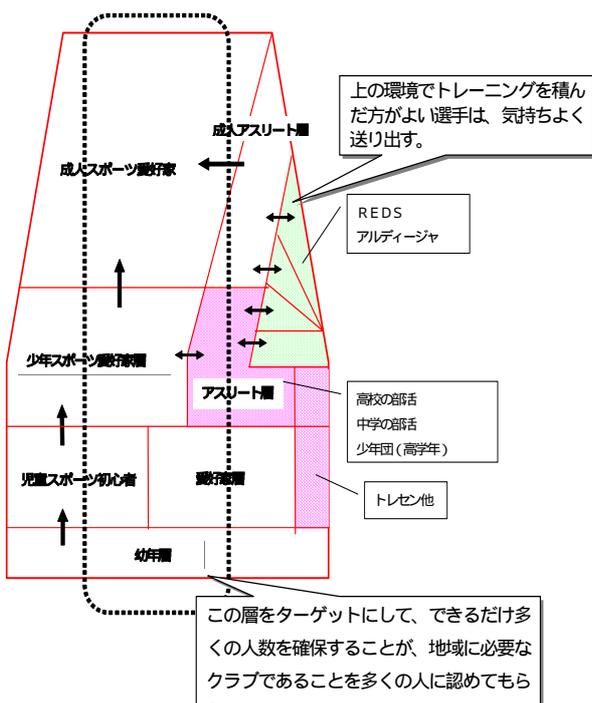
サッカー広場

サッカー広場は『うまい・へたに関係なく、友達とサッカーを楽しむ場所です。ひろばの経験をとおして、いくつになっても、力量・年齢・国籍に関係なく、誰とでもサッカーを楽しめるようになってほしい』という思いから開催しています。したがって、技術的なことを教えるのではなく、サッカーを通していろいろな友達と交流することを狙いにしています。

キッズテニス

サッカーの盛んなこの地域ですが、みんながサッカーをやりたいとは限りません。昔(エースを狙え!)から、最近(テニスの王子様)まで、人気種目でありながら、子どもの頃からテニスに親しむ機会は多くありませんでした。

キッズテニスは、子ども達がスポーツに親しむ選択肢を拡げることにつながると期待しています。



キンダーコーディネーション

サッカーやテニスを好きでない子が皆、体を動かすことが嫌いとは言えません。特定の種目によらず、遊び的な要素を通して総合的な運動能力を高める場を提供することを期待しています。

中学生～成人について

従来は、競技志向が高まり、技量・体力による篩わけが行われる年代であり、楽しみでスポーツをきままに実施することなどが、しづらい年代でした。浦スポでは、競技スポーツと生涯スポーツの両方の場を必要に応じて用意していきたいと考えています。

サッカー育成部

競技志向を強く持ち、技量・力量を高めたい子ども達を対象にしています。個々の技量向上を目指し、チームの勝利を目的にはしません。

サッカー生涯

体を動かす楽しみの一つとしてサッカーを続けたい方を対象としており、年齢制限はありません。

レディスフットサル

小学生までは、少年団でサッカーをしていた女の子も、中学生以上になると続けられる環境は限られています。

サッカーを続けたい女性のための場の提供の一步として、レディスフットサルを始めました。人数が増えていく中で、活動の目的なども分類していくことが考えられますが、当面は、今の形態で実施していきます。

ヨガエクササイズ(ハリウッドヨガから名称変更)

他人との競争などとは関係なく、対人関係を気にせず、健康のために体を動かしたい方向けのプログラムです。運動能力などはいっさい関係なく参加していただくことができます。

その他

現在、テニスについては、幼稚園から小学校4年生までのプログラムしか用意できていませんが、上の年代まで幅を広げ、シニアのコースまで提供していくことを目指してコートをさがしています。

また、駒場スタジアムや天王川緑道などの立地条件を活かし、地域の方々の健康・体力づくりに貢献できるウォーキング・ランニングなどの活動を展開したいと考えています。

これらの活動に皆さんが参加し、スポーツを通して出会い、交流することで、豊かなスポーツライフが実現されることを目指しています。

【浦スポの活動場所について】

NPO法人を取得したことや、日本体育協会の助成事業を受けていることなどもあり、「浦スポは活動場所として公共施設を優先的に確保している」と誤解されている方が少なくないようです。

実際に、このような優先利用は、月曜日のサッカー広場についてのみ認められています。さいたま市が後援して下さり、公式行事の利用を除く月曜日の午後～夕方の時間枠を優先的に貸し出してくれています(無料ではありません)。

その他の活動については、すべて、その他の団体などと同じ条件で施設をお借りして活動しています。

特に、駒場体育館を使うプログラムが多いことから、「いくつも予約しているのはおかしい」という声をいただいていたことがあるようです。

現在、ヨガエクササイズで150名、キッズテニスで80名、コーディネーションで60名、さらにサッカーのコースのトレーニングの利用などを考えると、利用人数は相当数になっています。このような中、他団体とできるだけ競合しないように、これまで利用率の低かった柔道場や剣道場、午後3時～7時頃のアリーナなどを狙って会場の確保を図ってきました。

その結果、浦スポの利用枠が必然的に増えているのであって、優遇措置を受けたり、なんらかの特別な手段を講じているわけではありません。

健康維持のためには、スポーツ実施に習慣性を持つことが良いといわれています。そのためには、活動場所の安定的な確保が必要ですが、地域スポーツクラブの活動場所の確保は、全国的にも課題となっています。学校も含めた施設の有効利用をいっそう進めていくことが必要です。

【会員の交流機会の増大が課題！】

ヨガエクササイズのコース増や、北小や本小でのキッズテニスの開催により、クラブ会員が1,000名を超えました。

今後は、クラブで活動していることが楽しみにしていただけるように、会員同士の交流の機会なども増やしていきたいと思います。

子どもの遊び場、親子でのイベント、さらには、大人同士の交流・・・というわけで、まずは、クラブに関わる大人(保護者もあり)の交流を深めるため、1～2月に一度くらいのペースで、交流会(呑み会です!)を開催したいと思います。

現在、某お店と調整中! 定例化していきたいと思えます! 決まり次第お知らせしますので、ぜひご参加ください!!

(文字だらけ号になってしまいました。ごめんなさい)